



SANUMA

# 週報

VOL  
XVI

佐 沼 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

## LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

例会場 七十七銀行佐沼支店ホール TEL(2)-2577  
例会日 毎週木曜日 12.30~13.30  
事務所 振興相互銀行佐沼支店 TEL(2)-2547

会長 千葉重雄  
幹事 大河内 清  
週報 白石謙造 村上武彦 小林忠秋  
阿部正美 秀 義弥

第791回例会

1980. 6. 18 No.40

(その1)

- ◎ 本日の出席率 35名中26名 74.3%  
欠席会員 狩野会員、二階堂会員、布施孝雄会員、遊佐新  
会員、氏家(良)会員、大河内会員、秀会員、若  
見会員、村上会員
- ◎ ビジター 佐藤正君(涌谷RC)
- ◎ ゲスト 飯塚仁哉様
- ◎ ニコニコボックス
- 甲矢会員  
去る5日、満74才の誕生日を迎えましたことを感謝  
致しております。誠におめでとうございます。
- 佐藤(文)会員  
来る30日、52才の誕生日を迎えます。誠におめで  
とうございます。
- 小竹会員  
先日の麻雀大会で優勝致し、本年度の有終の美で締括  
することができました。おめでとうございます。
- 千葉(春)会員  
麻雀大会でねらっていた2位を獲得致しました。予定  
通りでおめでとうございます。
- 佐藤(利)会員  
九州旅行より無事帰宅致しました。
- ◎ 会長要件  
梅雨に入り天候不順になっております今日このごろ、会  
員皆様にはお元気でご出席下さいましてありがとうございます。本日ゲストとして飯塚氏をお招きしております。新  
年度より新会員としてご活躍下さいませお願い申し上げます。  
さて、本年度も残り少なくなって参りましたが、来週の  
最終例会は時間と場所を変更して行うことになっておりま  
す。例会後、クラブアッセンブリーを予定しており、内容  
については次年度会長よりご説明申し上げますことと致しま  
す。また、先週に引き続き各委員会報告をお願い致します。
- ◎ 幹事報告(小林次年度幹事)  
○来る22日北上市で行われます地区協議会参加方法につ  
いては、当日の朝、大河内会員宅8時出発致しますので  
時間前にご集合下さい。  
○カンボチャ難民救済問題について及川ガバナーより書面

が参っておりますのでご紹介致します。

「会員皆様、日々ロータリー活動にご尽力ご苦労様に存  
じます。さて、表題の件ですが、ガバナー月信No12-2  
RI会長書翰として掲載致しましたところ、二、三のク  
ラブより問合せいただきました。このことにつきまして  
最終的に6月22日、地区協議会の次期会長部会に於い  
て討論される予定ですので、それまで資金及び物資の発  
送は一次保留されます様お願い申し上げます。」

○世界身体障害芸術家協会より書面が来ておりますのでご  
紹介致します。

「会員各位、手のない人々の美術作品として同封にてご  
紹介申し上げますハンカチーフは、さまざまな事情で両  
手を失った方々が長く苦しい訓練を得て口に筆を取って  
作ったものばかりでございます。当協会ではご理解ある  
皆様一枚でも多くご注文お買上げいただき、その売上  
げにより懸命にりっぱに生きようと努力を続けている障  
害者の生活を賄い、更には成長過程にあります身障青少  
年に奨学金を支給することに致しております。特に本年  
は非常に困難な経済状況にありますことから、多くの方  
々にご紹介申し上げ、ご協力頂きたく働きかけを行って  
おります。」

ということで、ハンカチの注文依頼が来ておりますので  
ご覧の上ご注文方お願い致します。

○郷土美化活動実践本部より第三回美化活動のお知らせが  
参っております。お手許に配布致しておりますのでご覧  
下さい。

○例会変更のお知らせ

盛岡西RC6月24日の例会を時間変更して下記にて  
行います。

日時 6月24日午後5時(クラブ協議会のため)

場所 八幡桜会館

盛岡RC 6月20日午後5時半に時間変更致します。

古川RC 6月27日午後6時半より駅前大通りロイヤル  
ホテルに変更して行います。

○石巻東RCと古川RCより週報が参っております。

◎ クラブ協議会について(伊藤次年度会長)

6月26日午後6時半より開催致しますクラブ協議会に

ついては、既に新年度の各委員長宛、新しい参考資料を差上げており、それをもとに各事業計画案を作成されておりますので、そのご報告を各委員長の方々をお願い致したいと存じます。

また、次期ガバナーより公式訪問日程について案内が参っておりますのでお知らせ致します。

11月19日(水) 13時～16時 会長、幹事面談  
16時～18時30分 クラブ協議会

11月20日(木) 例会出席

新年度 R I 会長ターゲット

「時間を捧げよう 奉仕のために」

## ◎ 委員会報告

### ○ 青少年委員会 (佐藤 (幹) 委員長)

先日迫町役場に於て迫町青少年連絡協議会の発足の打合せ会があり出席して参りました。青少年非行防止のため町内各種団体が集い種々協議致しました。当委員会と致しましては委員会事業と併せて積極的に協力して参りたいと考えておりますので会員皆様のご理解をお願い申し上げます。

### ○ 国際奉仕委員会 (布施委員長)

委員会報告前に本日のゲストの飯塚氏について二、三ご紹介申し上げます。彼は津山町に生まれ東北学院大卒業後、縁あって現在の米谷の飯塚家に入り、北上石油の社長として活躍して居られます。ご覧の通りダンディで且つ活動家でもあり新会員として大いに期待出来る人物です。これから宜しくお願い致します。

さて、委員会についてですが、先週もお願いして居りました1日1円献金の募集については一部届いておりませんので、来週までにお届け下さいます様お願い致します。国際奉仕委員会この一年間の所感ですが、台湾に明け台湾に暮れたようなものです。昨年6月に私と阿部会員が現地を訪れ、具体的に交渉致しまして、今年の1月29日現地に於てめでたく姉妹クラブの締結が出来た訳ですが、全会員皆様のご協力ご支援によりまして、ロータリー75周年の意義ある年にこの事業が出来たことを大変うれしく存じております。

先週の11日、壹岐会員の送別会がございましたが、その折に壹岐会員より伺った話しをご紹介致します。先日、東京本社の会議があって、その後銀座へ飲み流れたそうで、入ったクラブで偶然にも台湾のロータリーメンバーに出逢い、1月訪問時の話しで大変楽しい時間を過ごすことが出来、姉妹クラブがもたらす意義深さを感じられたということです。

人と人とのつながり、関係というものが国際奉仕委員会の最終的な目的でございます。金を送る、物を送るといことも勿論大切ではございますけれども、お互いの心を通じ合う相互理解の精神が国際平和を推進する一番大きな原動力であると思います。

この一年間、国際奉仕委員会の活動を通じまして感じましたことは、一言で云いますと「全てのロータリアンにはその年令、年代を超越した青春がある」ということです。来年度もまた国際奉仕委員会の委員長ですので、私なりに精一杯やってみたくて考えております。どうか会員皆様のご支援ご協力をお願い致しまして所感の報告と致します。

### ○ プログラム委員会 (鈴木委員長)

今年の反省とご報告を申し上げます。只今、国際奉仕委員会から報告がありました通り、姉妹クラブ締結という大事業が行われ、それに伴ってプログラムの方も大分埋めて戴きました。国際奉仕委員長さんに厚く感謝申し

上げます。また、親睦委員長さんもバイタリティなアイデアを活かし、レディス会等の企画も取り入れられ、その他四大部門の委員長方のご活躍によりまして、一年のプログラムを埋め合せて頂きました。他力本願の感がしており恥しい気が致す訳ですが、これが本来のロータリアンの友情ではないかと考えます。来年のプログラム委員長さんには例会がより楽しい素晴らしいものになる様努力されることと思います。どうか皆様のご協力をお願いしてご報告と致します。

### ○ 広報委員会 (佐々木委員長)

国際奉仕委員会の活躍で、地元の郷土タイムス紙等を通じて多少なりとも広報活動を行うことが出来ました。只一つ残念だったのは、優良従業員表彰についてお知らせする場がなかったことです。大変皆様には申し訳なく存じております。今後この様なことのないよう新しい委員長さんには充分ご配慮されますことを最後をお願いして報告と致します。

### ○ 財団委員会 (後藤委員長)

日本のロータリー財団では、向う三か月間に2,800万ドル(55億円余)を奨学生や教育補助金に支出することになっております。これ等の奨学生は、みな自国外の国へ1か年間留学します。日本のロータリアンは、これ迄すでに1,900万ドル(37億4,300万円)を財団へ寄附されました。78～79年度は日本から105名が海外諸国へ留学中です。また、財団発足以来900名もの日本留学生在が教育補助金を受けて海外で勉強して来ました。最近では毎年約100名の日本人学生が財団の補助受給生として海外へ旅立っています。一方、海外からも100名の外国人学生が財団プログラムの一環として訪日しています。さらに研究グループ交換活動のもとに5名の青壮年職業人からなるチームが外国を訪問し、その国の社会、経済、文化等各方面について研修し、親善につとめることになっております。組合わされた二つの地区が交互にチームを派遣し、そして受入れるプログラムです。当委員会としても週報にてご報告致しておりますが、今年度の寄附額1,938ドル(465,000円)で、これ迄長年の寄附累計額8,892ドル(2,134,000円)と、パーセンテージでは昨年までの1,900%が、今年度は2,300%となり、年初当委員会の目標を達成、突破致しました。これも会員皆様のご理解ご協力、とりわけポール・ハリス・フェローの故及川浩会員さんを含めた4名のフェローの方々、10名の準フェローの会員の方々には厚く感謝申し上げる次第です。財団の6大事業をより有意義に推進しながら当地域からの青少年の参加が今後の課題とも考えられますので、新委員長さんに充分ご検討賜りたいと思います。今迄ご協力下さいました会員の方々には心から御礼申し上げまして報告と致します。

### ○ 米山財団奨学会 (氏家 (康) 委員長)

当委員会の任務として、普通寄附の増額とか特別寄附勧誘が必要だった訳ですが、自分から功労者に該当させていただく程度で終わってしまい大変申し訳なく存じております。ここで奨学会の現状について少々ご報告致しておきます。

日本のロータリーが力を入れている事業は三つございますが、財団奨学金による学生の海外への派遣、青少年の国際交歓による高校生の交換、そして米山奨学金がある訳です。このうちの米山奨学金はロータリー財団や政府奨学金と違いまして、生活や学費の総てを保障するものではなく、一部を援助するもので、現在1人7万円を